

# 広島研修



教育の広場

## 広島での学び

弥富中学校　木村（きむら）　賢信（けんしん）

**【現地に行って】**

平和記念公園の建物には、一つ一つ意味や思いがあることを知りました。例えば平和の鐘には、国々は敵ではなく一つということを表すため、国境のない地図が描かれていました。原爆が落とされても残った建物や楽器がいくつもあることが分かりました。僕たちはその中の被爆ピアノの演奏を聴きました。流れた音は凄くいい音色がするのに、このピアノが被爆したと考えると、残ったのは本当に奇跡だと思いました。聴いていて、貴重でいい体験をしていると実感しました。資料館で知った被爆範囲は思っていたより広範囲で、どれだけ悲惨な結果をもたらしたのかが分かりました。また、資料館にはたくさん写真がありました。被爆した人の写真を見たとき、心臓が苦しくなりました。原爆は、爆発だけでなく、放射線でも人が亡くなるため、原爆はつくってはいけないと思いました。そのために僕たちでもできることがあると思うので、行動していきます。



**【自分たちができること】**

周りの人を助けたり、困っている人に教えたり、小さな気遣いをすることが大事だと思います。小さな気遣いをする人が増えることで、だんだん平和に近づいていけると思いました。この研修で今の生活が当たり前ではないと感じたので、これからも人に優しくしていきます。

## 過去から学び、未来への扉をともに開く

弥富中学校　鈴村（すずむら）　優葉（すぐは）



**【被爆者に水をあげるな】**

□絶えない後悔

被爆直後の世の中では「被爆者に水を与えるな」と言われるようになりました。水分を取ることで、血流が良くなり再び出血する恐れや、極限状態の被爆者の緊張が解けてしまい亡くなるケースがあったためです。被爆体験者である小倉桂子さんは、8 歳の時、爆心地から 2.4 ㎞離れた牛田町で被爆しました。桂子さんは、息絶え絶えに水を求める重症者たちに井戸水を飲ませましたが、水を飲んだ直後に何人かが桂子さんの目の前で息絶えてしまいました。その時の記憶は、何十年たった今でも桂子さんの心を痛め続けています。原爆は人の心を無慈悲に痛めつけ、大きな後悔を与え続けるのです。

**【核兵器がなくなる日まで】**

□平和の象徴「平和の灯」

平和の灯は、被爆直後の渇きから水を求めてやまなかった犠牲者を慰め、核兵器の廃絶と世界平和を願う象徴として知られています。この火は、1964 年 8 月 1 日に点火されて以来ずっと燃え続けており「核兵器が地球上から姿を消す日まで燃やし続けよう」という反核悲願の象徴となっています。

□平和について考える

平和とは争いをしないことではなく、意見の違いによる対立を、誰も傷つけずお互いを尊重して解決できるようになることだと思いました。

戦争をなくすには、戦争や核爆弾による悲劇を後世に伝え続け、今よりもさらに反戦に対する思いを強めなければなりません。今後もし戦争が起こりそうになっても、私たち一人一人の思いの訴えによって止めることができるような、戦争を起こさせない国を創っていく必要があると思いました。

教育の広場

# 日の出小学校

学校ホームページ

子どもたちは、毎日元気よく生活しています。日頃からさまざまな活動に取り組んでいます。

## 1年生を迎える会（4月）

4月に1年生を迎える会を行いました。全校のみんなでクイズ大会をしたり、1年生へメダルのプレゼントを渡したりしました。児童会役員の執行部が主体となって企画・運営を行いました。




## ひのこタイム（通年）

毎週金曜日の朝にひのこタイムを行っています。「あいさつ・うなずき・最後まで聞く・笑顔」をルールとして取り入れ、全学級が同じルールの下で活動しています。関わり合いを大切にした時間です。





## 運動会（5月）

5月に運動会を行いました。リズムジャンプ体操で体をほぐしてから競技を行いました。大きな声で選手を応援する姿、最後まで諦めずに走り切る姿など感動的な場面がたくさんありました。




## なわとびフェスティバル（1月）

昨年度、全校児童でなわとびフェスティバルを行いました。休み時間に、外でなわとび練習をする姿が多く見られました。自分で目標を決めて一生懸命跳ぶ様子が印象的でした。




## 避難訓練（通年）

日の出小学校では、地震や火災、津波などいろいろな危険を想定しながら避難訓練を実施しています。「お・か・し・も」を合言葉に「みんなの命をみんなで守る」ことができるよう全校で協力しながら取り組んでいます。




## なかよし活動（通年）

「なかよし活動」（縦割り活動）では、全学年がレクリエーションを通して交流する時間を設けています。6年生が主体となり、異学年同士が楽しく関わることができる内容を考えて実践しています。


